

## 第3学年 道徳科学習指導案

令和元年6月25日(火) 第5校時

- 1 主題名 社会の秩序と規律を守る 内容項目【C 遵法精神・公德心】
- 2 ねらい 法やきまりの意義を多角的な面から考えることを通して、その意義を理解し、自らの義務を果たすことで、よりよい社会をつくろうとする判断力を養う。
- 教材名 「二通の手紙」 (出典「中学生の道徳 明日への扉 3年」学研教育みらい)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

人間は周囲の人々と関わりながら生きている。その社会生活の中で、一人一人がそれぞれの幸せを追求し、よりよい生き方を実現させていくためには、社会の秩序と規律が維持されていることが必要である。秩序と規律のある社会の建設のためには、身近に接している法やきまりの意義を理解して、一人一人がこれらを遵守しようとする意欲をもつことが不可欠である。また、日常生活で、自己と集団および社会との関係を正しく認識できることが公德心のもととなるものである。しかしながら、法やきまりが自由を束縛するものだと感じることもあるだろう。そこで、現在の自分の姿から、法やきまりと自分との関わりを振り返り、法の精神を実生活に照らし合わせて理解することが大切である。

指導にあたっては、法やきまりがある意義を考えさせ、自ら進んできまりを守る判断力を育てたいと考えた。そのために、まず元さんのとった行動とその思いを考えさせていく。そして、その行動が周囲に大きな影響を与えたことについて、多角的・多面的な視点で考えさせることで、きまりやルールを破ることが、周囲に迷惑をかけたり、他者の権利を侵害してしまったりすることに気付かせていく。こういった活動を通して、社会の一員としてきまりの意義を正しく理解し、公私の関わりや自他の権利と義務などを考えさせて日々の実践に結びつけることで、ねらいに迫りたい。

#### (2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

小学校では第1学年および第2学年で「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること」、第3学年および第4学年では「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」、第5学年および第6学年で「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと」を学んできている。また、中学1年生では、「選手に選ばれて」を教材に「権利と義務」を学習し、2年生では「許さない心」を教材に「きまりを守ること」を学習してきた。さらに、3年生では、修学旅行事前準備において、持ち物やルールについて学級討議を行い、世の中には多くのきまりが存在していることも理解した上で、よりよい集団作りのために行動しようとする意識付けを行ってきた。

こうした活動の中で、集団のきまりを自律的に捉え、係活動や班活動などにおいても、相手を気遣い、自主的に手伝ったり助けたりしようとする積極性も兼ね備えている生徒が多い。その一方で、「周囲に合わせて仕方なくきまりを守る」といった他律的な捉え方をしていたり、

「周囲がきまりを守っていないから」などの理由で自己を優先してしまったりする生徒も見られる。そこで、進路選択や各種行事などに関連付け、自由と責任、法やきまりを遵守することの大切さを主体的に考えさせるとともに、さまざまな視点で考えさせることで、よりよい集団作りや社会づくりに対する実践意欲の向上につなげることが求められる。

### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、市営動物園の入園係であった元さんと、幼い姉弟の間に起こったできごとを、同じ入園係の佐々木さんが回想するかたちで描いている。真面目で信頼の厚い元さんであるが、規則を破り、幼い姉弟を動物園に入園させてしまう。この行動により、母親からは感謝の手紙が届くが、代償として多くの人に迷惑をかける結果となり、園からは懲戒処分通告が言い渡される。これら二通の手紙を受けて、姉弟に対する思いを優先させたがゆえにとった元さんに対して、共感する生徒が多くみられることも考えられるだろう。そのため、元さんの思いに寄り添いつつも、その行動を多角的・多面的な視点で考えさせることで、法やきまりの意義や、それらを守ることの大切さについて考えさせたい。

以上のことから、本主題を設定した。

## 4 学習指導過程

段階	○学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 教材への導入を図る。 ○動物園の規則を提示して、気づいたことを挙げる。	・知っていた/知らなかった ・遊園地など他の場所でも似たようなルールを見たことがある	・提示資料の内容に興味関心をもたせる。 ・生徒に身近なものを取り上げることで、本時のねらいに意識を向けられるようにする。
展開	2 教材を読んで考えを深める。 ○教師の範読を聞き、内容を理解する。	・内容の中心となる部分や、気になった部分に線を引きながら読む。	・「元さん」を中心に考えさせる。 ・内容の中心となる部分や、気になった部分に線を引ながら読むよう指示する。 ・二通の手紙が届く前までの範読とする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           登場人物 元さん（動物園職員、入園係） 主人公 姉弟 （いつも二人だけ。入園時間を過ぎてから来た）         </div> ○元さんの思いを考える。 （1）元さんはどのような気持ちで姉弟を入園させたのだろうか。 ○教師の範読で内容の結末を聞く。 ・母親からの感謝の手紙 ・園からの懲戒処分通告	・弟を思いやる姉の気持ちを大切にしたい。 ・何とか入れてあげたい。 ・かわいそう。	・元さんの心情に注目させ、共感させる。  ・元さん宛に届いた二通の手紙をそれぞれ提示する。

	<p>【前中タイム】グループで話し合う。</p> <p>○多角的な視点から、元さんの行動を考えさせる。</p> <p>(ねらいに迫る中心発問)</p> <p>(2) 元さんの行動は、何が問題だったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループになり、それぞれの視点をふまえた考えを交流する。</li> <li>・小グループで出た意見を発表する。</li> </ul> <p>(3) なぜ、きまりを守ることは大切なのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の勝手な判断で行動した。</li> <li>・動物園の規則を破った。</li> <li>・人に迷惑をかけている。</li> <li>・姉弟の安全を考えていない。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちを守るため。</li> <li>・きまりを守ることは、相手を思いやることでもある。</li> <li>・互いに安全、快適に過ごすため。</li> <li>・楽しい時間を共有するため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物園」「姉弟」「母親」「他の客」「元さん」という5つの視点から、元さんの行動の問題点を多面的・多角的に考えられるようにする。</li> </ul> <p>☆自分の考えを発表し、他者と意見を交流することで考えを深めることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もしも」という想定を通して、規則を破ることの重大さ、規則の意義に気付かせる。</li> <li>・元さんの行動は、思いやりを優先させたわけではないことに気付かせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりやルールは、単に「守らなければならないもの」という捉え方ではなく、その背後にあるものを考えさせる。</li> <li>・元さんの行動や動物園から下された処分から、自分自身の生活にも重なる部分があることに気付かせ、価値の一般化を図る。</li> </ul>
<p>終末</p>	<p>3 学習のまとめをする</p> <p>○授業を通して学んだこと、感じたこと、新たに気付いたことなどをワークシートに記入する。</p> <p>○教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに、学んだことや感じたことなどを記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体や小グループでの意見交流を活かして、きまりやルールの意義について考えたことを書かせる。</li> </ul> <p>☆法やきまりについての意義を理解して、集団生活の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を培うことができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ルールやきまりを守ること」の大切さや意義について改めて考えることで、日々の生活にも活かせることを示す。</li> </ul>

## 5 他の教育活動等との関連

事前指導	修学旅行事前準備として、討議によってルールを決めることで、本時に向けての意識付けをする。
道徳科	元さんの行動とその後の結果から、法や決まりの意義を理解させ、よりよい社会をつくることについて考えさせる。
事後指導	きまりやルールについて、学校生活（行事や進路など）との関連を考えさせる。
家庭との連携	本時の内容や授業の様子等を学級通信で紹介し、家庭においても、きまりやルールについて話題にしてもらおう。

## 6 評価の視点

<物事を多面的・多角的に考えている様子>

- ・元さんの行為について多角的な視点から話し合うことで、法やきまりについての意義を理解し、それらを守ることの大切さや生き方について考えている。

<道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子>

- ・法やきまりの意義について、自分の考えを発表して他者と意見を交流することで、考えを深め、日々の実践に結びつけようとしている。

## 7 板書計画

◎なぜ、きまりを守ることが大切なのだろうか。

- ・自分たちを守るため
- ・相手を思いやることでもあるため
- ・互いに安全で快適に過ごすため

◎元さんの行動は、何が問題だったのか。

- ・個人の勝手な判断で行動をしている。
- ・人に迷惑をかけている。
- ・姉弟の安全を考えていない。

◎元さん↓姉弟を動物園に入園

元さんはどのような思いだったのだろうか。

- ・姉の気持ちを大切にしたい
- ・何とか入れてあげたい

動物園の写真

二通の手紙

- ・元さん……入園係
- ・姉弟……時間を過ぎて来た動物園に入りたい
- ・佐々木さん